

そらこめ通信 No.52 2014年産新米発売号

このたびは弊社の米をお買い上げいただき誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げますとともに、2014年産新米につきましても引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

9月27日(土)に稲刈りが終わり、その後乾燥作業や粃摺り・等級検査などを経て、10月20日(月)から新米の販売を開始いたしました。弊社の今年の米の出来ですが、収量的にはまずまずといったところです。新聞報道によると、北海道における今年の水稲の作柄(9月15日発表)は、10aあたりの平年収量を100とする作況指数で「108」の「良」。作柄が「良」となったのは全国で唯一北海道だけとのこと。ちなみに、全国平均は「101」で「平年並み」、北海道に次ぐ2番手は岩手県の「105」で「やや良」とのことでした。また、東海以西は日照不足などであまりふるわなかったようです。作況指数は、あくまでも見込みとしての収量の多寡を指すもので、食味とは本来関係がありません。ただ、収量が多いという事は日照時間などが充分確保できたことを意味するわけで、一般的に(収量が多い年は)食味も良いと言われています。

昨今、米の消費が全国的に減少傾向にあります。米はご飯1膳あたりに換算すると、数多ある主食の中では最も低価格でヘルシーな食材です。新米が出回るこの時期に、ぜひ国民の皆さんにはたくさん食べて頂きたいものです。

弊社では、10月16日(木)に個別販売用の全ての米における等級検査が終了しました。結果は全品種で全量1等米を達成。今年から作り始めた「ふっくりんこ」を含む全ての品種において自信をもっておすすめできる品質かと存じます。ぜひこの機会にご賞味頂いたうえで、ご友人や職場のお仲間にご紹介いただければありがたく存じます。



ふっくりんこの圃場(9月8日)



今年入れ替えた2台の乾燥機(9月8日)



コンバインによる稲刈り(9月21日)



モミをトラックに移す作業(9月21日)



モミを乾燥機のホッパーに投入(9月21日)



ホッパーに投入されたモミ(9月21日)



出荷を待つ「コスモス」の束(9月21日)



コスモスのハウスと、出荷されずに残った可憐な花びら(9月21日)



ダリア「コケチョウ」(9月21日)



「ななつぼし」の等級検査(10月6日)



等級のスタンプを押す検査員(10月6日)



精米プラントへ米の搬入(10月6日)



プラント内のようす(10月6日)



1等米の「ななつぼし」(10月6日)



1等米の「ふっくりんこ」(10月8日)



1等米の「きたくりん」(10月8日)



1等米の「ゆめぴりか」(10月13日)

稲刈りで多忙を極める中、もう一つの収入源である花卉の出荷もピークを迎えています。今年初めて作り始めた「コスモス」もそのひとつ。秋の花の代名詞ともいべきこの花は、つぼみのうちに収穫して出荷しなければなりません。ハウスの中をのぞくと、収穫されずに残った花がひとつふたつ……。これもまた風情があります。コスモスの花言葉は「乙女の純真」「乙女の真心」だそうです。実に可憐ですね。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です

インターネットで美味しいお米!